



# 連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局

Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>

Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 405 号

(創刊 1988.12.14)

2023.6.4

## 行政の横暴を許さない！

引き続き会長を務めさせていただきます。どうぞよろしくご支援の程お願いいたします。

昨年 12 月に通常 5 年間隔の事業評価監視委員会を急遽 3 年で開催し、問題点の多さにより新年の 1 月にも延長戦が行われました。第三者機関にも拘わらず、事業投入費用(C)に対し得られる便益(B)、所謂 B/C が何と 1 を割って 0.8 なのに監視委員会は事業継続を宣言しました。皆さまご承知のように 2009 年の国会で金子国交大臣が「無駄な道路は造らせない・・・B/C が 1 以下の結果が出たものは事業を見合わせる」と発言しています。全く許せません。その上、計画発表時の事業費 2,000 億円が 8,000 億円近くに膨れ上がり、尚且つ何時完成するか分からないという始末です。我々は国会を通じてこの事実を取り上げ、6 月に行われる全国公害総行動の問題として道路問題に苦しんでいる仲間と共に追及していきたいと考えます。皆様と共に頑張っていきたいと思えます。(会長 比留間)

## 2023 年度(令和 5 年)連協役員

[任期は 6 月 1 日より 1 年間] 全員留任

役員名	氏名
会長	比留間 哲生
副会長	田中 克己
副会長	大橋 宏
副会長	金子 サキ
環境部長	鈴木 伸之
環境副部長	高村 鈴子
環境副部長	横地 美農里
事務局長	長谷川 誠二
ニュース編集局長	和田 雄偉
HP 担当	都築 ちひろ
会計	関口 豊子
会計監査	藤原 典子
顧問	青木 達喜

## 桂台トンネル工事「沿線住民説明会」

桂台地区のシールドマシン下り線の掘進開始に併せ、回転立坑に近い地域から順に範囲を区切って説明会が開かれました。

5 月 18 日の説明会では、「トンネル工事の掘進作業を地上部の作業時間と同じように午後 5 時までには出来ないか、せめて午後 8 時までには止めて欲しい」との要望が出ました。しかし事業者は沿線の方から「工事を早く終わらせて欲しい」との要望があるので、上り線同様午後 10 時までの作業を考えていると回答しました。住民が「工事を早く終わらせて欲しい」と要望したことを「工事を早く終わらせる為に、夜遅くまで掘進を行っても良い」と受け止めたとすれば間違っています。

「シールドマシンの掘進・振動の音が夜遅くまで続き苦痛なので早く通過して欲しい。」と理解すべきです。事業者は、まずはシールドマシンの掘削時間の短縮を検討すべきです。

また説明会場で出た「掘進の時間短縮により当初の計画よりどの位日数が伸びるのか？」との質問をスルーしましたが、真摯に回答して欲しいものです。

**掘進に当たっては騒音・振動対策を行うが、それでも騒音・振動が感じられる場合は一時的に滞在可能な場所の確保・提供を個別に対応する、との説明がありました。**

この場合、騒音・振動の大きさやシールドマシンからの距離等の条件は無いとのことですので、少しでも苦痛を感じた場合は遠慮せず事業者へ申し出て滞在場所を提供して貰って下さい。(副会長・大橋)

## 大型車両速度計測を実施(その2)

前号ニュースで4月27日(木)に西ヶ谷ハイツ前市道で工事用大型車両の走行速度を計測した事を報告しましたが、今回それに関連してGW連休中に工事用道路の出口に「市道走行15km/h以下」の看板が大林組の手で設置されました。



当初公田IC工事の残土搬出車両はシールドトンネルの中を通す計画でしたが、トンネル工事が遅れている為、西ヶ谷ハイツ他の沿線住民に何の説明もすること無く市道を毎日往復250~300台の大型車両を通して行っています。

速度計測の3日前、当方からは大成建設にも西ヶ谷ハイツ1号棟市道曲がり角に同様の看板を設置するよう申し入れてあります。当初の計画通りトンネル内を走行させるまでは騒音と塵埃による被害を住民に及ぼさない様、厳しく監視して行きます。

(ネオポリスH.O)

### 3月28日&5月16日質問・回答会議の回答報告(前号に続く:その3)

**質問②:シールドトンネル発生土の土質改良による増額209億円(前回2020年にも300億円増額)併せて509億円の必要性の根拠は**

**(回答)**トンネル発生土は公共事業用途で再利用して貰う計画で、前回の300億円は再利用に必要な強度(コーン指数)を確保する土質改良費と仮置き場費用であった。改良でコーン指数は確保できたが、コーン指数では現れない所で指定先への持込み土が重機で踏み固められない現象が生じたため、新たに集成固化材、セメント等による改良が必要になり今回追加で計上した。

**(再質問)**シールド工法に変更した際に気泡シールド方式(気泡に薬剤添加)の採用が間違っていたのではないか。他の方法を検討しなかったのか。

**(回答)**他の方法との比較はしていない。そこまで想定していなかった。実際に土砂を処分先に持って行って解ったことで基本的に再利用するうえでの必要経費。産廃処理等捨てる場合はもっと掛かることは検討済みである。

#### **(我々の見解・意見)**

1)NEXCO 東は道路建設事業者として技術的に未熟、未熟故に300億円かけて改良したものが再利用できず、更なる改良費209億円を掛けたことはムダ金だ。

#### **見通せなかったことについて事業者として責任(自己負担)を持つべきである!**

加えて、トンネルからの発生土には別に270億円の重金属対策費用が掛かっている(前号参照)、併せて779億円であり当初実施計画の4,300億円の約20%もの費用が掛かってしまったことは、とても看過できない。  
2)この発生土は公田笠間、桂台トンネルの土という。一方で、庄戸トンネル発生土は本牧第5ブロック埋立材として処分され処理費は24億円と一桁小さい(前号参照)。このことから「発生土の再利用は必ずしも絶対条件では無いこと」を示していると言える。コスト縮減を目指す事業を検討したとはとても認知できない。

今後、事業評価監視委員会等、社会に問題提起していきたい。(事務局長 長谷川誠二)

#### **【対外活動報告】**

- 05/16 質問回答会議(西ヶ谷)
- 05/18, 20 NEXCO 桂台トンネル下り線掘進再開説明会(湘南桂台地区)
- 05/19 外環道低周波騒音振動調査会(会長、参加、オンライン会議)
- 05/23 新栄区長との懇談会(会長他8名)
- 05/24 外環道訴訟第19回口頭弁論&報告集会(会長参加)
- 05/27 外環道による建物損傷一住民調査の報告会(調布東部公民館&オンライン3名)
- 05/29 ・講演&シンポジウム「立ち往生するリニア建設」於:衆院第一議員会館(会長参加)&オンライン会議  
・公共事業世話人会山崎誠議員面談(衆議院会館)
- 05/31 NEXCO 説明会(庄戸地区)
- 06/1~3 大気中二酸化窒素測定、分析